

お知らせ

- 協会けんぽの健診が始まりました。
4月1日より実施医療機関となりました。どうぞご利用ください。
- 特定健康診査を実施しています。
日 時：月～金曜日の8:30～
- ★ 検診、健診はお電話にてご予約をお願いします。

医師担当表

2010年5月

	月	火	水	木	金	土
内科	佐藤	松本	佐藤	佐藤	佐藤	交替制 (午後休診)
総合診療科	長田	荒木	黒田	依藤	黒田	
外科	黒田	大森	長田	長田(6・20日) 黒田(13・27日)	大森	
整形外科	吉原	手術日	吉原	吉原	吉原	
婦人科 (午後・予約制)	依藤	—	依藤	—	依藤	
循環器内科 (午後・予約制)	—	松本	—	—	—	
内視鏡	—	佐藤 荒木	—	大森	—	—

土曜日は、内科、総合診療科、外科、整形外科の医師が交代で診察いたします。担当医については、お電話でお問い合わせください。

外来受付時間：午前 7:30～11:30 (日・祝日休診)
午後...13:30～15:30

外来診察時間：午前... 9:00～12:00
午後...14:00～16:00

☆急病者様は、お電話にてご連絡ください。Tel.(0799)72-3636

入院面会時間：20:00まで



聖隷淡路病院は、財団法人日本医療機能評価機構の定める認定基準を達成しています。

ドクターおのころの ちょこっとばなし

けんぽう か かつえきほうえん 肩峰下滑液包炎

多くの場合腕を挙げての作業をした後に、肩から腕にかけての痛みを訴え来院されます。特に肘を外側に上げると疼痛が増悪します。幅広い世代で見られ、若者ではスポーツでの使いすぎの後、中高年では仕事・作業での使いすぎの後に発症することが多いようです。昔から水泳の盛んな地域でよく見られると言われていますが、水泳時の腕の動きが原因と推測されています。

医学的に^{けんぽう か かつえきほう}肩峰下滑液包とは、肩の骨と腕の骨がこすれる部位にあるクツションの名前で、この部位が過剰に刺激され起こる炎症を総称して^{けんぽう か かつえきほうえん}肩峰下滑液包炎と呼んでいます。原因としては運動・作業による使いすぎ、加齢に伴う退行変性によるものがほとんどですが、忘れていけないものに細菌によるものがあります。細菌によるものはまれですが重症度、緊急度ともに高く放置できません。

治療としては細菌性以外の多くの場合、局所にステロイド剤(副腎皮質ホルモン)と局所麻酔剤を混合した液を注入すると劇的に疼痛が消失します。急性の場合、これを数回行うだけで症状が消失することが期待できます。しかし慢性的に経過している場合、この注射を行っても永続的な効果は期待できません。普段から腕の使い方への気配りが必要かもしれません。頑固に続き、不自由さが問題な時には手術的治療が考慮されます。現在では関節鏡を使った治療が一般的で有効な手段と考えられています。

一方細菌性の場合には少し状況が異なります。局所の排液処置や抗生剤の点滴が必須で、治療後にも関節の破壊・変形を残すのは避けられないことが多いです。

(整形外科部長 吉原 幸夫)

